

ISE CULTURAL FOUNDATION

555 Broadway, New York, NY 10012 t.212.925.1649 www.iseny.org

グローバル・ファブリック、コモン・スレッド (世界の布、共通の糸)

2009年3月6日から4月10日まで

オープニング・レセプション：3月6日（金曜日）午後6時から8時

パブリック・プログラム：3月18日（水曜日）午後6時から8時

「何かを作る」展覧会出展アーティスト、ブリース・ハニーカットとドナ・ファンカによるデモンストレーション

アーティスト：スコット・アンドレセン、アンドレア・デズソ、ドナ・ファンカ、ブリース・ハニーカット、井上葉子、ナバ・ルベルスキー、ダレル・モリス、シニク・スミス

キュレーター：ジーン・グリッティ、メリッサ・リビン



イセ・カルチュラルファンデーションでは、キュレーターのジーン・グリッティとメリッサ・リビンによる「グローバル・ファブリック、コモン・スレッド（世界の布・共通の糸）」と題するグループ展を開催致します。

この展示会のアーティスト達は衣類や布を使い、刺繍や糸紡ぎなどのテクニックを用いて、「利用、再利用」「すること、しないこと」「輸入、輸出」「世界経済、そして個人の政治的立場」等2分するテーマを探ります。縫う、接着する、束ねる、刺す、編む、紡ぐ、裂くといった作業を通し、8人のアーティストは新しいメディア・テクノロジーよりも、忍耐強い職人芸を制作の方法として選びました。展覧会「グローバル・ファブリック、コモン・スレッド」の作品は、針と糸から形ができ、糸から布そして衣類が作られ、また逆に戻るといった素材の循環を見る人に考えさせ、問いかけます。

これらの素材を作品に変えていくことによってアーティストは時には故意に、時には偶発的に商品文化と現状に疑問を投げかけています。同様に、伝統的なテクニックを用いることにより、過剰生産、世界貿易、性別によるステレオタイプ、および文化の相違の問題に取り組んでいるのです。この展示会での作品は、一見なじみ深い家庭用品や素材の不思議なパワーを明らかにし、伝統的な素材と複雑な考えを一緒に織りなしています。アーティストは現代のグローバル化した世界における社会、政治、および個人的関係等のより大きい問題に作品の焦点を移行させつつ、個々のものづくりにおける技の熟練をより磨き、より一層高めました。

写真：井上葉子「売買される物の輪廻」キャナルストリートでのパフォーマンス、2006-2007、アメリカ国旗の入った輸入ウールの帽子とセーター、セーターをほどいた毛糸など。（写真：アリーナ・ザカイテ）